

生活科の実践

美幌町

生活科

2年

お店の人と仲良くなるために積極的にかかわる！

大通たんけんたい

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

地域に住宅地や商店街があっても、地域住民とのふれあいは少ないものです。そこで、人と人とのつながり・かかわりを求め、商店街の人々を中心に、地域を探検していきました。人と仲良くなるような活動を展開することで、生活圏である学校周辺の地域社会に親しみを感じることができます。また子どもが生活を広げ、楽しさを味わうことができます。

学習活動の流れ（20時間）

お店さがしをすることで、地域に目を向けていきました。

学校の近くにはどんなお店があるのだろう（3）

- ・どんなお店があるのかな
- ・「何を売っているのですか？」
- ・お店の中はどうなっているのかな

お店の人に自分のことを伝えることで、相手のことを知るきっかけをつくりました。

お店の人と話をしよう（3）

- ・お店の人はどんな人？
- ・自分のことも知ってもらおう
- ・お店の人とたくさん話をしよう

お店の人と仲良くなるために、どうしたらいいかということを考えて発表しました。

お店の人と仲良くなるために（9）

- ・手作りのプレゼントをしよう
- ・どんなものが喜ばれるかな
- ・手作りの紙芝居はどうかな

お店の人と話したことをみんなに知らせよう（5）

- ・お店の人達をみんなに紹介しよう

美しい美幌峠の近くには、住宅街や商店街があります。小さな街なので、地域の方と仲良くなれるように、積極的にかかわっていくことをねらっています。

自らの生活を豊かにしていく学習活動です。



美しい美幌峠の近くには

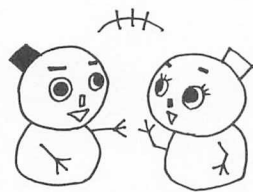
教材・活動の Point!

1. 大通にはどんなお店があるのかな

子ども達は、商店街を見に行った後、それぞれの興味関心に合わせて訪れる店を決め、お店探検の計画を立てます。子ども達は、興味深く探検し、何を売っているかを考えたり、外から見える様子や匂いを感じ取ったりしました。

2. お店の人と仲良くなろう

お店の人と仲良くなりたくなった子どもたちは、どんな話をするとよいのかを考えました。質問するばかりではなく、好きな食べ物、勉強、遊びなど、自分についての話もします。一度目の訪問が終わって、「もっと仲良くなるためにはどうしたらいいだろう」ということについて話し合いました。その結果、「自分たちが作った『お店の紙芝居』を見てもらいたい」「お店で使えるものを作ってプレゼントしたい」ということになりました。活動は、どんどん続いていきます。



3. 知的好奇心・気付きを高めるために

地域での活動は、子ども達の興味関心を高めます。子ども達は、今までつながりがなかった人と話をする事ができたという自信をもち、「あのお店のおじさんとおばさんをしてっているよ」という喜び、そして自分の世界が広がる楽しさを感じ取りました。そこで自分の学びを表現し広げるための発表会を行いました。

